

# うやなぎ

## 活気に満ちた植柳



植柳校区  
住民自治協議会  
会長 鑄山 元生

令和七年（二〇二五年）も早いもので、半年が過ぎ、野山にも、青葉が緑を生い茂りまわっており、夏の季節となりました。

校区の皆様におかれましては、ますます健康のじょうぶを願ひ申し上げます。

また、日頃から住民自治協議会に対してご理解、ご支援を賜り心より感謝申し上げます。

さて、七年ほど前から、栽柳園保存期成会の松浦会長が、ホタルを飛ばそうと意を立ち上げ、今日まで色々な苦難を乗り越え、力こゝろを生着し、昨年と本年に幼虫を放流しました。今年は、ホタルが四十〜五十匹、少なうときでも十匹と夜空を舞い、優雅な姿を見せてくれました。これも、会員皆様の努力と苦勞の証で、これからますます盛に夢を手を交わしつわらわりたいと思ひます。

昨年の市民体育祭では、太田郷、八千地、鑄、十千など、二十一の参加校区を相手に民事総合優勝する事ができました。また、その他にも市政協力賞やフットボール大会、卓球大会など民事優勝し、五本の優勝旗を獲得する事ができました。

そんな素晴らしい校区にはもう一つ宝である植柳盆踊りがあります。今年は植柳盆踊りをまじめて四十年という節目にあたります。（現在の二丁目公園から植柳小学校のつうへんに移設して）これ

まで諸先輩方が継承してこられた植柳盆踊りを精一杯盛り上げ、近隣と手をつなぎ、後世に残していきたいと思っております。物心豊かなまちづくりを目指して、共に手を取りながら、皆様と頑張りたいと思ひます。

これから、校区のまわりのじむ支援に協力ください。



## 八代市市民体育祭

### 陸上の部

#### 総合二位

男子 二位

女子 二位

おめでとうございます。

今年植柳校区はおしこも二位でしたが大健闘。チームワーク抜群。市民体育祭が盛り上がりしました。

参加された皆様お疲れをありがとうございました。

## スポーツ功労者表彰



豊田邦夫（下一町内）

競技団体や体育協会など、長年にわたり、スポーツ振興にご尽力され表彰されました。

今回の表彰は、植柳体協役員として表彰されました。

おめでとうございます。

## 植柳校区人口

（令和 7 年 5 月末現在）

男 1,983 名

女 2,218 名

計 4,201 名

（-108 名）

※令和 6 年 6 月より

## 令和 7 年度 植柳校区住民自治協議会 役員紹介

| 役員名  | 氏名         | 役名       | 氏名                      |
|------|------------|----------|-------------------------|
| 会長   | 鑄山 元生（元町）  | 監事       | 宮本 慶儀（元町）               |
| 副会長  | 谷川 成孝（上 2） | 顧問       | 桑田 謙治（大福寺）              |
| 〃    | 渡邊 敏也（上 2） | 事務局      | 西本 直（上 1）               |
| 〃    | 永松 清子（上 2） | 事務局長     | 橋口 一博（上 1）<br>（書記、会計兼務） |
| 町内会長 | 坂井 道男（上 1） | 書記       | 澤村 夏見                   |
| 〃    | 渡邊 敏也（上 2） | 会計       | 松下 美香（大福寺）              |
| 〃    | 鑄山 元生（元町）  | 地域アドバイザー | 谷脇 信博                   |
| 〃    | 藤崎 博見（下 1） | ※敬称は略    |                         |
| 〃    | 森山 雅彰（下 2） |          |                         |
| 〃    | 宮里 愛（大福寺）  |          |                         |

## お世話になります

### 地域アドバイザー



谷脇 信博

### （メッセージ）

三月に八代市役所を定年退職し、四月からコミセへでお世話になっております。植柳幼稚園、植柳小学校、三中の出張です。よろしくお願ひします。



## 事務局



（上段）  
橋口 事務局長

澤村 書記

（下段）  
鑄山 校区長

谷脇  
アドバイザー  
渡邊  
上二町内長

今年も明るく元気な  
チームワークをモットーに頑張ります

## うやなぎ みごと 1100 回達成

今年で、うやなぎみごとが始まり二十五年の節目を迎えました。

うやなぎみごとは、平成十二年（二〇〇〇年）市内五校区（八千地、宮地、植柳、高田、二見）で始まりました。

うやなぎみごとの目的は、高齢者の健康づくりや生きがいづくり、仲間づくり等です。一人暮らしのり高齢者の方にむたいく役立ちたいとします。

上二町内のうやなぎみごとの皆様、今年 1100 回達成されました。おめでたいおめでとうございます。話によりまちと校区で続いているのは植柳校区だけなのです。

ちなみに、三年前、二〇二二年十二月にトーうやなぎみごとが 1000 回を達成しました。

うやなぎみごとのまちについて、利用者の人に聞いてみました。「人と話す機会が増えた」「安否の確認ができる」「閉じこもりや孤独死の防止につながる」「介護予防につながる」「新たな友人に出会える」「周囲への気遣いや配慮ができる」等々の話がありました。

現在、100 歳以上の方が全国で六万人おられますが、その方々の特徴は幸福感が高く、人生を前向きにいらて、食生活や、生活のリズム、運動習慣を大切に、積極的に社会に参加され、体をしっかりと休めることです。

「笑ひ」は、心身とまじりつなぐて、免疫力を高め、健康になることです。





